

団体名	東広島市	所属	商業観光課	他団体等との連携	企業
連絡先	観光振興係 (082) 420-0941				

取組事例名	西条酒蔵通りの周遊性向上	取組期間	平成24年度～平成25年度
--------------	--------------	-------------	---------------

取組の概要 ～ 酒蔵通り全体を大きな博物館に見立てた展示

銘醸地として知られる東広島市西条の「酒蔵通り」には多くの酒蔵が軒を連ね、風情あるまち並みが続いている。各酒蔵では蔵を開放して試飲販売などを行い観光客の対応をしているが、訪れた人の周遊を促すような仕組みづくりが十分でなかった。そこで、各酒蔵と連携し、酒蔵通りのまち全体を大きな博物館に見立てた「西条酒蔵通りまるごと博物館」として展示を行うことで、周遊性の向上を図った。

取組の背景 ～ 酒蔵通りの魅力が十分伝えきれていない

西条は、灘・伏見と並び称される銘醸地で、JR西条駅周辺の「酒蔵通り」には酒蔵が集積しており、レトロな赤レンガの煙突や、なまこ壁などが特徴ある景観を形成している。西条のように酒蔵が狭い地域に密集している地域は全国的にも珍しく、また、昨今の日本酒ブームも相まって注目を集めている。しかしながら、訪れた観光客がどのようにして酒蔵を巡ればよいか分からない、酒蔵に入りにくいといった意見もあり、魅力ある観光地としての観光素材の磨き上げについて検討していた。

取組のねらい ～ 周遊性の向上、滞在時間の延長

酒蔵通りにある各酒蔵と連携し、魅力ある観光地となるよう取組を実施することで、酒蔵通りを訪れた観光客の周遊性を向上させ、また滞在時間の延長による地域経済への寄与、地域活性化を目指す。

取組の具体的内容 ～ まち全体が博物館となる「西条酒蔵通りまるごと博物館」

1 共通のサイン設置による一体感の醸成

酒蔵などの入り口に共通のサインを設置し、観光客にも展示を行っていることが分かりやすく、また酒蔵へ入りやすい雰囲気とした。



2 酒蔵ごとにテーマを設定した展示

「お酒のうんちく」、「日本酒と書の関係」など、酒蔵ごとに異なるテーマの展示を行うことで、各蔵を巡る動機付けを図った。

3 町中への展示物の設置

酒蔵だけではなく、酒蔵通り内にも酒にまつわる展示を設置することで、周遊性を向上させた。



取組を進めていく中での課題・問題点 ～ 効果的な手法の検討

1 周遊性を向上させる具体的施策

これまでも周遊性の向上は課題としてあったものの、課題を解決するための有効なアイデアや具体的な施策の立案に至っていなかった。

2 各酒蔵との共通認識を持った取組

各酒蔵では独自で展示を行っているケースはあったものの、観光客受け入れのための共通的な取組が十分でなかった。

創意工夫した点 ～ 民間企業を活用した創意工夫ある取組

1 東映㈱への委託による事業推進

酒蔵通りでの時代劇おもてなし隊による賑わいの創出や、西条酒蔵通りまるごと博物館の展示等において、時代劇やアニメなどの制作のほか、東映太秦映画村の運営など幅広い層をターゲットとした娯楽を手掛ける東映㈱のノウハウを活用することにより、これまで実施したことのない創意工夫ある取組を具現化することができた。



時代劇おもてなし隊

2 各酒蔵との連携強化による一体感の醸成

観光客受け入れ態勢の整備や、おもてなし向上の必要性を各酒蔵に理解してもらい、密に連携を図ることで、酒蔵通り全体をひとつの博物館に見立て観光地としての一体感を醸成した。

取組の成果（効果） ～ 観光客の増加

西条酒蔵通りへの来訪者数は、増加している。

平成23年度：26,212人

平成24年度：45,101人

平成25年度：49,743人

※平成23年度は西条駅前観光案内所への来訪者、平成24～25年度は西条駅前観光案内所とくぐり門案内所への来訪者数をカウント。

今後の展開 ～ より魅力のある観光地となるために

まち全体を博物館に見立てた今回の取組により、ハード整備は一定のレベルに達したと思われる。今後は、訪れた観光客の満足度をアップさせるため、地域住民も含めたおもてなし向上や体験型メニューの開発などソフト面での観光地整備が必要である。

他団体へのアドバイス ～ 地域との連携強化、民間ノウハウの最大限活用

観光の振興は、地域と民間事業者、行政が三身一体となっていくことが非常に重要であり、目標を明確にし、共有化しながら事業を進めることがよい結果に結びつくものと考えます。

また行政にはない民間事業者ならではの視点は、観光という分野には必要不可欠と考えるため、積極的な民間活用が有効である。